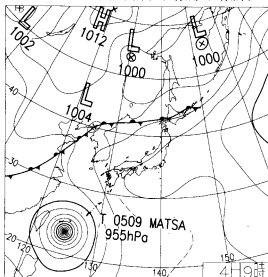


日々の天気図

— No. 43

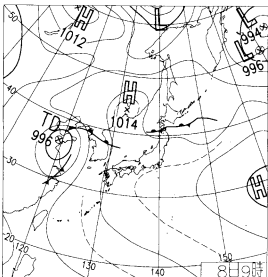
2005年 8月

- 12日、停滞前線の影響で埼玉県寄居町102.5 mm/1h。
- 25日、台風第11号により東京都大島町で最大瞬間風速57.0 m/s。
- 25日～26日、台風第11号による総雨量、神奈川県箱根町565 mm。
- 31日、台風第13号の接近で沖縄県石垣島で最大瞬間風速59.1 m/s。
(気象庁予報部予報課)



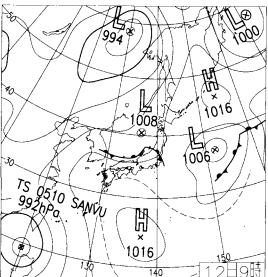
4日(木)東北地方梅雨明け

全国的に概ね晴れや曇り、北海道を除き各地で真夏日。梅雨の明けた秋田市33.8℃、青森県八戸市33.9℃。午後、東日本の山沿いで雷雨。強い台風第9号は石垣島を通過。



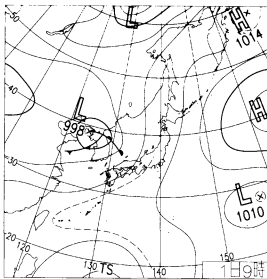
8日(月)東北部以西真夏日

東北や中国地方の一部で雨の他は概ね晴れ。関東甲信や北陸は午後、大気の状態が不安定で所により雷雨。新潟県新発田市77.5 mm/1h、山口県阿東町74 mm/1hの非常に激しい雨。



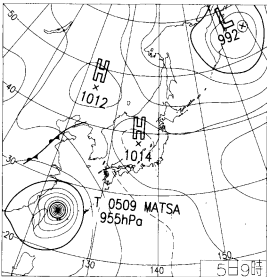
12日(金)東日本不安定

関東から北陸に前線停滞。日本海から暖かく湿った空気流入。北陸から関東で非常に激しい雨。埼玉県寄居町で102.5 mm/1h、西日本は晴れて気温上昇。高知県四万十市で38.9℃。



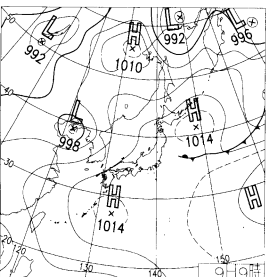
1日(月)旭川で真夏日

高気圧が日本の南海上に張り出し、ほぼ全国的に晴れるが、暖かく湿った空気が入り所々で雷雨。内陸中心に気温上がり。長野県飯山市で35.2℃、北海道旭川市で31.1℃。



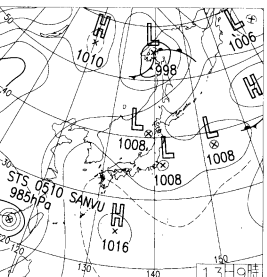
5日(金)全国的に高温

全国的に晴れや曇りで気温も上昇。大阪府豊中市で38.4℃、群馬県館林市で37.6℃。先島諸島は台風第9号の接近に伴い、石垣島で最大瞬間風速50.6 m/s、西表島で204.5 mm/24h。



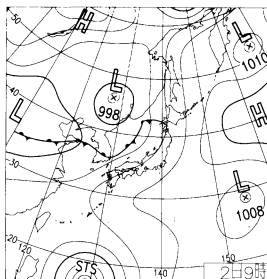
9日(火)夕方、西日本で雷雨

全国的に概ね晴れや曇り。夕方、西日本と関東北部で雷雨。兵庫県粟粟市で67.5 mm/1hの非常に激しい雨。和歌山市で平年より37日早くヤマハギ開花。



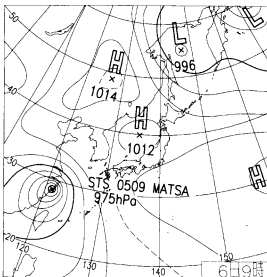
13日(土)北・東日本気圧の谷

大気の状態が不安定で北陸の所々で大雨。福井県美浜町で62.5 mm/1h。西日本でも引き続き気温高いが、北海道の一部でも30℃を超え、宗谷支庁歌登町で32.6℃。



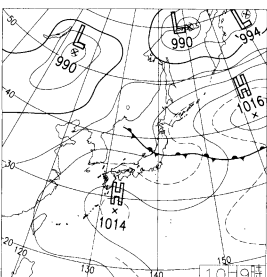
2日(火)北陸で昇温

日本海の前線に暖かく湿った空気が流れ込み、大気的不安定な状態が続く。全国的に晴れや曇りで西日本中心に所々雷雨。長崎県対馬市85.5 mm/1h、富山市36.8℃。



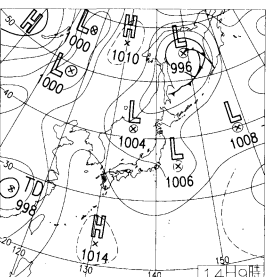
6日(土)東・西日本大気不安定

北日本は晴れ。東・西日本は大気の状態が不安定。晴れや曇り所々で雷雨。石川県かほく市で56.5 mm/1h、岐阜県関市で54.5 mm/1h。各地で気温も上昇。群馬県館林市では37.1℃。



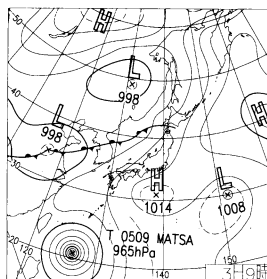
10日(水)本州付近 前線停滞

北陸から東北部に前線が停滞、所々で雨や雷雨。その他は晴れや曇り。新潟県三条市72 mm/1h、石川県門前町66.5 mm/1h。四国は北西風フェーンで高知県四万十市で39.7℃。



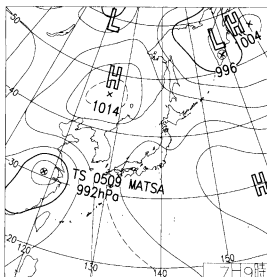
14日(日)台風第10号熱低に

東日本から北日本では夕方～夜にかけて非常に激しい雨。西日本、南西諸島は晴れや曇り。茨城県太子町で64.5 mm/1h。台風第10号は華中で熱帯低気圧に。



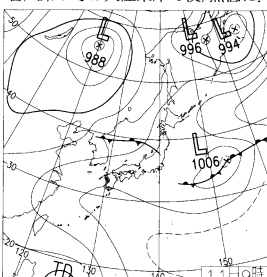
3日(水)台風第9号先島諸島へ

北日本で雨や曇りの他はほぼ全国的に晴れ。北海道は前線の影響で大雨洪水警報。北海道積丹町で38.5 mm/1h。台風第9号は発達しながら先島諸島に接近。



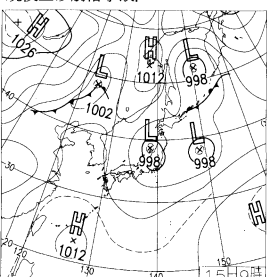
7日(日)台風第9号熱低に

高気圧に覆われて全国的に晴れ又は曇り。内陸中心に気温上昇。群馬県館林市で37.1℃。気温上昇に伴い大気の状態が不安定、所々で雷雲発達。台風第9号は大陸東岸で夜、熱低に。



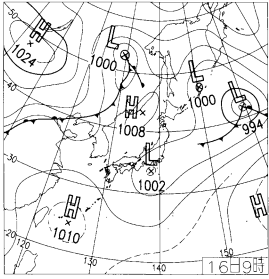
11日(木)暖湿な空気流入

活発な対流雲が北陸で発生。石川県宝達志水町で66 mm/1h。西日本中心に今日も気温上昇。高知県四万十市で37.9℃。長野県白馬大雪渓で大規模土砂崩落事故。



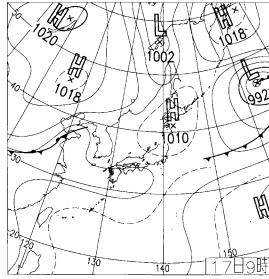
15日(月)寒気伴う気圧の谷通過

寒気の通過で大気の状態が不安定。本州付近は所々で雨や雷雨。北海道や九州は晴れや曇り。鳥取県大子町で89.5 mm/1h。東京都練馬区で57.5 mm/1h。高知県須崎市で38.5℃。



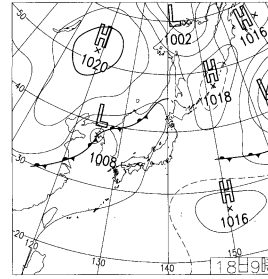
16日(火)宮城県南部震度6弱

全国的に晴れ又は曇り、東日本は大気の状態不安定で所々で雨や雷雨。宮城県沖でM7.2の地震、宮城県南部で震度6弱、宮城県沿岸に津波注意報。石巻市で0.1mの津波を観測。



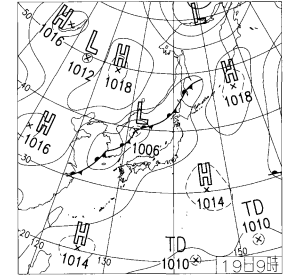
17日(水)不安定ほぼ解消

北日本を中心をもつ高気圧に覆われるが、四国沖には気圧の谷。上空寒気は東に抜け、東日本中心の大気の状態不安定状態もほぼ解消。全国的に概ね晴れ又は曇り、一部で雨や雷雨。



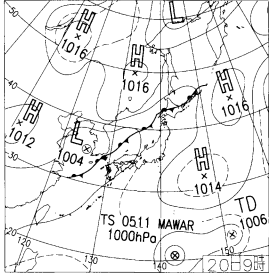
18日(木)西日本で雷雨

ほぼ全国的に晴れ又は曇りだが暖く湿った空気が流れ込んだ東日本、西日本では所々で雷雨。岐阜県上市44.5 mm/1h、福岡県北九州市小倉南区で40.5 mm/1h。



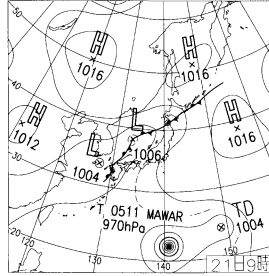
19日(金)午後、全国的に雷雨

日本海の前線に向かって暖く湿った空気が流れ込み、本州各地で30 mm/1h以上の激しい雨。福島県梁川町63.5 mm/1h、九州では上空の寒気も影響、大分県宇佐市53 mm/1h。



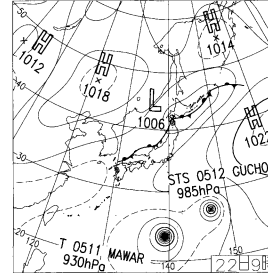
20日(土)台風第11号発生

日本付近は前日に続き南から暖く湿った空気が流れ込み、所々で雷雨。新潟県魚沼市入広瀬で82 mm/1hの非常に激しい雨。硫黄島の南南東で午前3時台風第11号発生。



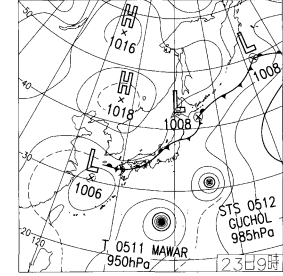
21日(日)新潟県震度5強

前線の影響で北海道、九州南部を除く西日本、北陸・東海の一部で雨。台風第11号は急速に発達して眼を形成。南鳥島の西海上で台風第12号発生。新潟県中越地方で震度5強。



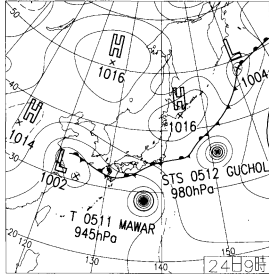
22日(月)日本海側前線の影響

日本海沿岸に前線が停滞、北海道付近の低気圧の影響も加わり、北日本や日本海側で雨や雷雨。福岡県前市で44.5 mm/1h、北海道松山支庁乙部町で43.5 mm/1hの激しい雨。



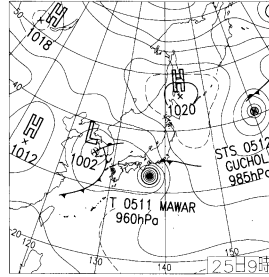
23日(火)台風第11号北上中

前線が北海道から東日本、西日本にのび、前線近傍では各地とも雨。全国的に9月上中旬並みの気温だが、前線南側の関東南部は気温が高く、千葉県茨原市で34.3℃。



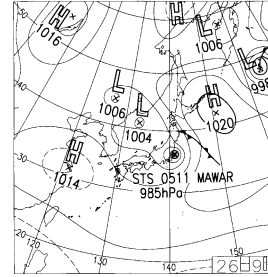
24日(水)宮崎県で大雨

北海道から東北は概ね晴れ。その他も晴れや曇りだが一部太平洋沿岸で雨。宮崎県には東海上から対流雲が次々と流入し、宮崎市71.5 mm/1h、南郷村130 mm/3hの非常に激しい雨。



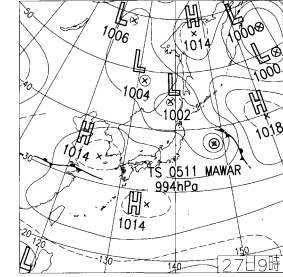
25日(木)台風 本州南岸に接近

台風第11号の北上に伴い近畿～東北にかけては雨。九州も気圧の谷の影響で雨。その他は晴れや曇り。神奈川県箱根町で日雨量528.5 mm。東京都大島町で最大瞬間風速57.0 m/s。



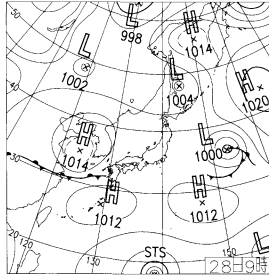
26日(金)台風第11号千葉県上陸

台風第11号は、2時すぎ三浦半島を通過、4時半頃に千葉県付近に上陸。25日0時から26日12時までの雨量は神奈川県箱根町で568 mm、千葉県大多喜町で341 mm。



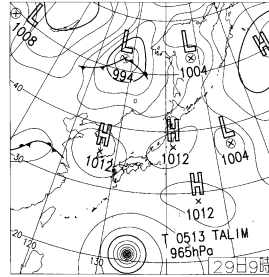
27日(土)台風第13号発生

日本付近は黄海の高気圧に緩やかに覆われ、日本海北部を低気圧が東進。全国的に晴れ又は曇り。午後は大気の状態が不安定、関東から北で所々雨。マリアナ諸島で台風第13号発生。



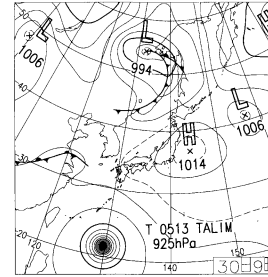
28日(日)東日本で30℃以下

ほぼ全国的に晴または曇り。午後、西日本の一部で雷雨。各地9月上・中旬並みの最高気温。台風第11号は日本の東海上で温帯低気圧に。



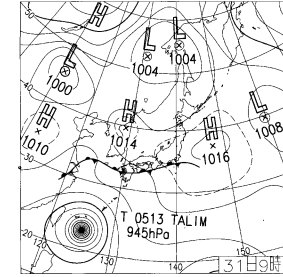
29日(月)台風第14号発生

東日本や西日本は移動性高気圧に覆われ概ね晴れ。北日本は気圧の谷の影響で一部で雨や曇り。マリアナ諸島で台風第14号発生。



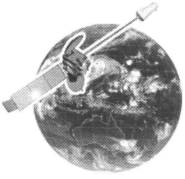
30日(火)先島諸島に台風接近

気圧の谷が接近し、全国的に晴れから曇りとなり所々で雨一部雷雨。非常に強い台風第13号が勢力を維持したまま先島諸島に接近風雨強まる。富山市、甲府市でスキが開花。



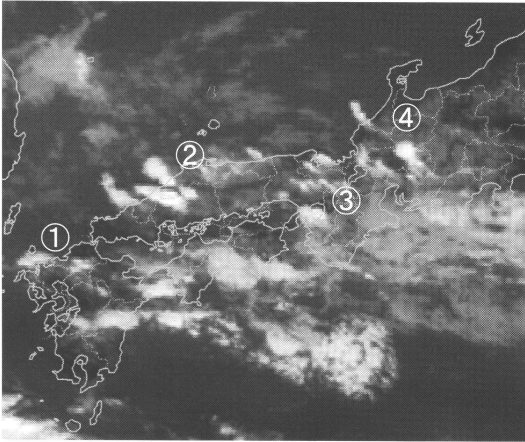
31日(水)先島諸島 暴風域に

台風第13号は先島諸島の南海上を通過。沖縄県石垣市登野城で最大瞬間風速59.1 m/s。沖縄県石垣市川平で258.5 mm/24h。東・西日本は前線の影響で所々で雨の他は晴れや曇り。

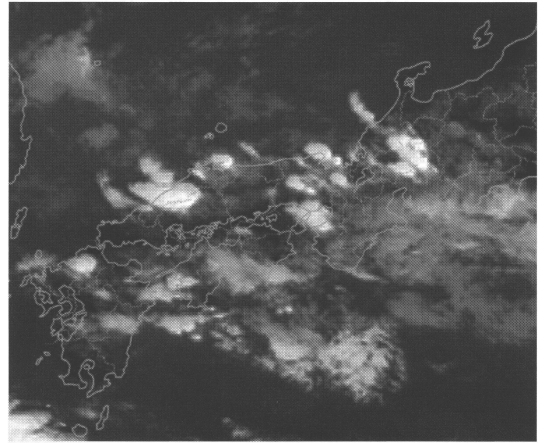


今月のひまわり画像—2005年8月

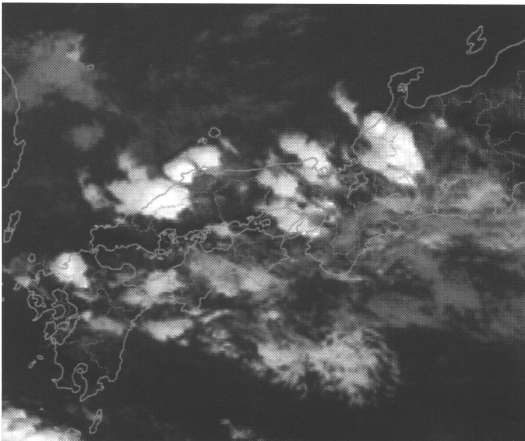
ひまわり6号の30分観測画像からみた積乱雲の発達



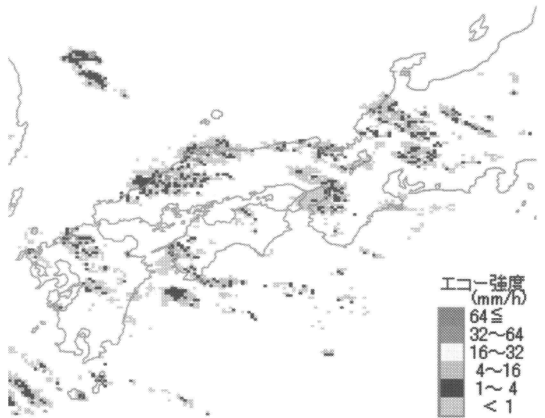
第1図 8月6日13時の赤外画像.



第2図 8月6日13時30分の赤外画像.



第3図 8月6日14時の赤外画像.



第4図 8月6日14時のレーダーエコー図.

8月6日の午後、上層の寒冷低気圧の影響により、西日本を中心に積乱雲が発達した。第1図～第3図は、6日13時から14時までの30分間隔の赤外画像である。西日本の内陸部を中心に発生した積乱雲（図の白く輝いている部分）が時間と共に拡大していく様子がわかる。ひまわり6号は北半球の観測が従来の1時間間隔から30分間隔に短くなり、短時間に強雨をもたらす積乱雲の発達がより詳細に把握できるようになった。13時の画像では、①福岡県、②島根県、③京都府から兵

庫県、④岐阜県にドット状の積乱雲が発生し始めている。ひまわり6号から入手できるようになった30分後の画像（13時30分の画像）をみると、①～④の地方では積乱雲の領域が拡大している。30分間隔の画像により防災上重要な積乱雲の発達を早めに知ることができるようになった。14時には積乱雲が更に発達し、第4図に示したレーダーエコー図からは①～④の地方で1時間に30mm以上の激しい雨が観測されている。

（気象衛星センター）